Panasonic

施工説明書
取扱説明書
保管用

SmartLighting Eco
環境配慮型おまかせセルコン
（明るさセンサ連続調光）
品番　FSS42060J

（一般屋内用）　・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

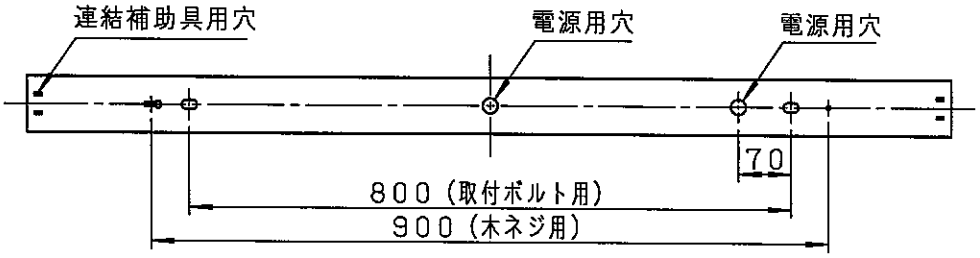
⚠警告

●施工は、施工説明にしたがい確実に行なう。　施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●器具を改造しない。　感電・火災・落下の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

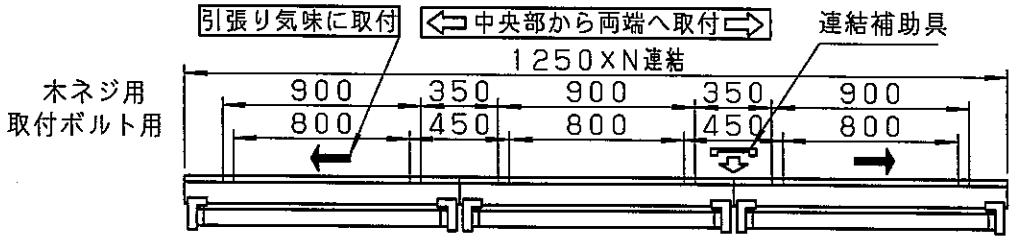
●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。
●周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。
ちらつきや短寿命の原因となります。

器具背面図



連結の場合

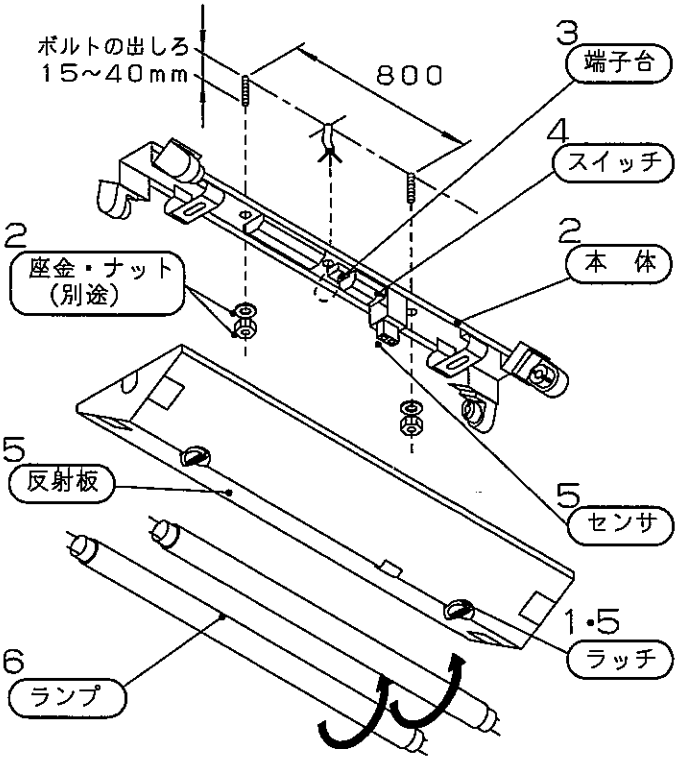
・器具間のK．Oをはずして、同梱の連結補助具を取付ける。



各部のなまえと取付方法

⚠警告

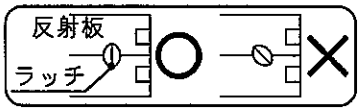
施工は、施工説明書にしたがい確実に行なう。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。



1 取付前の確認

・器具質量（２．６ｋｇ）に十分に耐えるよう、取付ボルト又は、木ネジ取付部（ネジ掛かり代）の強度を確保する。
（取付ボルトは、Ｗ３／８又はＭ１０を使用する。）
（木ネジは、丸木ネジ呼び４．１以上を使用する。）
不備があると器具落下の原因となります。

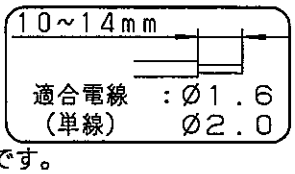
・ラッチが曲がっていないか確認する。



2 本体の取付

・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・本体を取付ボルト又は、木ネジで確実に取付ける。
（ボルト取付推奨トルク値１．５Ｎ・ｍ）

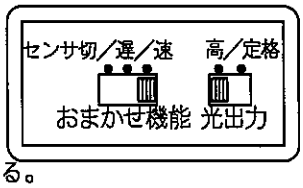
3 電源線・アース線の接続



・電源線、アース線を確実に差し込む。
・Ｄ種（第３種）接地工事が必要。
・端子台の容量は、２０Ａです。
・この器具は、器具内送り配線が可能です。
送り配線される場合は、器具同梱の電源ブッシング等でエンド部通線箇所の保護を行なってください。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

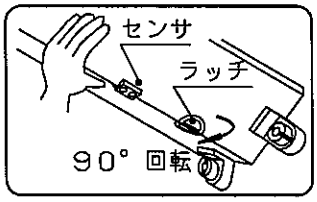
4 おまかせ機能・光出力の設定

・制御ブロック部のスイッチを操作しておまかせ機能、光出力を設定する。
・工場出荷時は、『速』・『高』に
に設定しています。



5 反射板の取付

・反射板の穴をセンサの位置に合わせる。
（反射板には方向性があります。）
・反射板を手で保持し、センサが穴から突出していることを確認しながら、ラッチを９０°回転して確実に反射板を取付ける。
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。
・センサが反射板の穴から突出してることを確認する。



6 ランプを確実に取付ける

・ランプをソケットにセットしてから、９０° 回転させる。
取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

注）工場出荷後、初回点灯時は明るさフィードバック制御を行いません。
次回点灯時以降、前回の明るさを維持するように自動的にコントロールします。

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切る。　感電の原因となります。

⚠注意

●アルカリ系洗剤は使用しないでください。　強度低下による破損の原因となります。
●照明器具には寿命があります.
設置して※１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。　点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●１年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

動作について

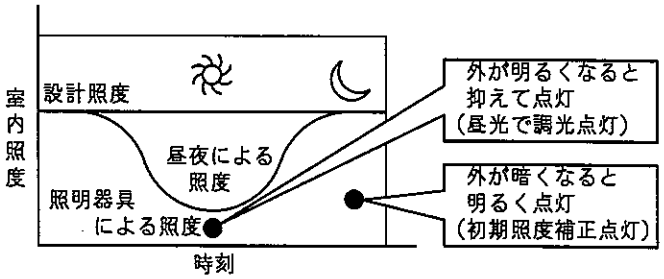
明るさフィードバック制御の基本動作について

・明るさセンサにより、ランプの光束減退に応じて光出力を制御する初期照度補正を行います。※1
・昼光が入る場所、時間帯では適正照度を確保するよう昼光に応じて、光出力を自動コントロールします。※2

■出力切替スイッチでランプ全光束の切替が可能です。
（ランプ全光束　高出力　：4，950ｌｍ／灯・
定格出力：3，520ｌｍ／灯）

※1　初期照度補正制御は、ランプ全光束の70％を維持するように制御します。

※2　昼光が強い場合には、設計照度より明るくなる場合があります。



明るさおまかせ機能について

「明るさおまかせ機能」はご使用場所の運用にあわせて、前回ご使用時の明るさを維持するように自動操作する当社独自の制御アルゴリズムです。

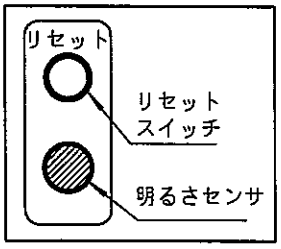
※「明るさおまかせ機能」は使用場所の運用に合わせて、前回使用時の明るさを維持するように自動的に動作します。昼間のみのご使用など常時、設計照度よりも明るい状態でお使いの場合、次回点灯時に昼光利用が見込める環境になっても十分に調光しない場合があります。
ブラインド等による昼光の一時的なカットや夜間までのご使用など、10分以上設計照度状態での運用が昼光を最大限に利用することにつながります。

※　照明器具個々に調光動作を行う為、一時的に器具間にランプの輝度差が発生する場合があります。予めご了承ください。

※　レイアウト変更などにより反射率が変化した場合、おまかせ機能による照度の補正に時間がかかる場合があります。極端に暗い状態が続くなど作業に支障をきたす場合は、一旦、電源をOFFにし、再度電源を入れなおしてください。おまかせ機能により自動で照度を補正します。
（点灯後、10分経過しても変化が無い場合は再度電源OFF、電源ONの操作を行ってください。）

使用上のご注意

■ランプを交換する際には累積点灯時間をリセットする必要があります。
以下の操作を実施してください。
【リセット方法】1）ランプを取り外す。
2）新しいランプを取り付ける。
3）電源ON
4）リセットスイッチを押す。（2秒以上長押しする。）
（リセットスイッチはセンサ部にあります。）



正しくリセットができたときは、約2秒間100％点灯し、その後、調光します。

※　おまかせセルコンは累積点灯時間を記憶しながら、点灯時間に応じた光束減退特性に基づいて照度補正を行います。したがって、新しいランプに交換される際、累積点灯時間をリセット（累積点灯時間の記憶値をゼロにする）する必要があります。

※　ランプ寿命を検出して自動リセットを行う機能はついていません。
ランプ寿命までランプをご使用になった場合でも、必ずリセット操作を行ってください。

※　累積点灯時間は、外部スイッチ、停電等で電源を遮断されても保持されます。

■複数のランプを備えた器具はすべてのランプを同時に交換することをおすすめします。
（同時に交換しない場合はランプ間の明るさにバラツキが発生します。）

■光出力切替スイッチで選択したランプ全光束（高出力の場合：4，950ｌｍ／灯、定格出力の場合：3，520ｌｍ／灯）の70％を保つように設計されています。
ランプや器具の汚れについては、補正されませんので定期的なお掃除をおすすめします。

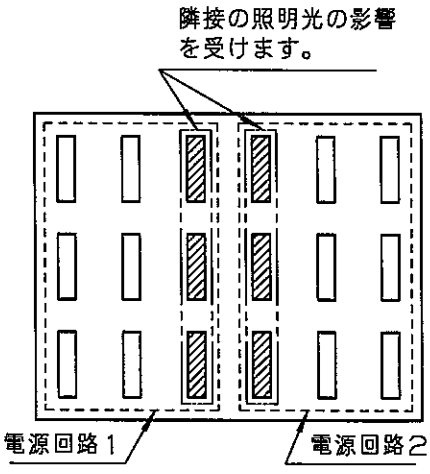
■同一空間で電源回路を分ける場合、一方のみを消灯すると、境界付近の器具は同じ電源回路内の他の器具とランプ輝度に差が生じる場合があります。

■低光束時、周囲温度が5～15℃程度になるとわずかにチラツキが出る場合がありますが、数秒～数十秒で解消いたします。

■ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。

■同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。

■センサの特性上、下記に類似したケース等、適正照度が得られない場合があります。予めご了承ください。
・直下に、ロッカーなどの背の高い什器が設置された場合、まわりの明るさを適正に検知できず、適正照度が得られない場合があります。
・おまかせセルコンが壁面やパーティション近傍などに配置された場合、壁面の影響を受け適正照度が得られない場合があります。
・センサの検知範囲内でスポットライト等が入切されたり、空調の影響などで明るさが変化するとその影響を受け、適正照度が得られない場合があります。

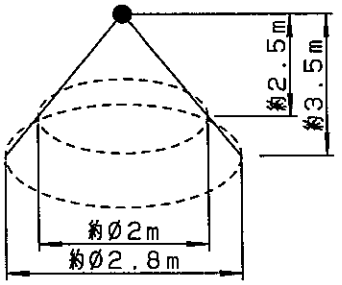


故障かな？と思った時は

現象	確認事項	処置方法
照明器具が暗すぎる。	什器の移動などで、センサの検知範囲内の反射率が高くなっていませんか？	一度電源をＯＦＦした後、１０分以上点灯し再度電源をＯＦＦし、点灯してください。
	昼光や他の光源から光が検知範囲内に入射していませんか？	センサの検知範囲内の明るさを一定に保つ為の動作ですので異常ではありません。
照明器具が明るすぎる。	什器の移動などで、センサの検知範囲内の反射率が低くなっていませんか？	一度電源をＯＦＦした後、再度電源を投入してください。
	明るさセンサの表面が汚れていませんか？	明るさセンサの汚れを軟らかい布で拭き取ってください。
	ランプ交換後にリセットスイッチ操作を忘れていませんか？	ランプ交換後、リセットスイッチを２秒以上長押ししてください。
	光出力切替スイッチが「高出力」になっていませんか？	光出力切替スイッチが「定格出力」に切り替えてください。
器具ごとにランプの輝度に差がある。	設置場所の違いにより昼光の入射状態に違いはありませんか？	センサの検知範囲内の明るさを一定に保つ為の動作ですので異常ではありません。
照明器具が調光しない。	おまかせ機能切替スイッチが「切」になっていませんか？	おまかせ機能切替スイッチを「速」または「遅」に設定してください。
	前回、外光が入る昼間に電源ＯＮ－ＯＦＦしませんでしたか？	一度電源をＯＦＦした後、１０分以上点灯し再度電源をＯＦＦし、点灯してください。

商品仕様

使用環境	一般屋内
使用温度範囲	5～35℃
明るさフィードバック制御可能範囲	設置（天井）面照度20～700ｌｘ
調光動作範囲	約25～100％ （1，240～4，950ｌｍ／灯） （但し、定格出力選択時、上限は 3，520ｌｍ／灯となります。）
使用センサ	明るさ（光量）センサ
センサ検知範囲	約Ø2ｍ（器具取付高さ２．５ｍ時）



補正スピード	1％／ｓ
光出力切替	ランプ光束 高出力　：4，950ｌｍ／灯 定格出力：3，520ｌｍ／灯
明るさおまかせ機能切替	「速」：おまかせ機能の更新速度が速い 「遅」：おまかせ機能の更新速度が遅い 「切」おまかせ機能を切る。
累積点灯時間リセット方法	ランプ交換後、リセットスイッチ（センサ近傍）を2秒以上長押しする。
適合電線（電源線）	Ø１．６ｍｍまたは Ø２．０ｍｍ銅単線
外部連動	不可

注）低光束時周囲温度が5～15℃程度になるとわずかにチラツキが出る場合があります。

保証について

・保証について－－－ この商品の保証期間は１年間です。但し、安定器は3年間です。
ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について－－ 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品－－の保有期間 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換

・器具の清掃について－－－・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
・ランプ交換について－－－・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。）
・交換は2本同時に行ってください。

交換部品	蛍光ランプ
	FHF32EX

⚠注意 ●感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。

パナソニック株式会社　ライティング機器ビジネスユニット　〒571－8686　大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120－878－365（フリーダイヤル）　0120－878－236（FAX）
N0311－021113